

DRYVAC DV 450・650 ドライ真空ポンプのメンテナンス

真空ポンプの性能を最大限に発揮させ故障を防ぐためには定期的なメンテナンスが必要です

① 日常的な点検

オイルの残量をチェック

ポンプを停止させ、オイルサイトグラス部で点検。

オイルを注入する場合は必ずポンプを停止させ、**大気開放してから**注入してください。

オイルの色と漏れをチェック

通常、オイルは透明です。黒ずんだ場合は交換してください。

劣化したオイルの使用は故障の原因となります。



汚れのレベルが2.0以上の場合、交換が必要です

ポンプのノイズをチェック

ポンプ運転初期値のノイズから変化が見られるかを観察してください。

ポンプの温度をチェック

同じ個所のポンプケーシング表面温度の変化を観察してください。

ポンプの表面温度は条件により異なりますが、80℃近くになる場合があります。

ポンプの使用環境温度は5℃から50℃です。

温度が高い場合はポンプ設置場所の通気または冷風機を設置し、条件の範囲内で使用してください。

② 定期点検

オイル交換

LVO210（エステルオイル）は1年ごと、LVO400/410（PFPE）は4年ごとに行ってください。

オイル：LEYBONOL LVO210 1L：注文番号 L21001 5L：注文番号 L21005

LEYBONOL LVO400 1L：注文番号 L40001

LEYBONOL LVO410 1L：注文番号 L41001

プラグガスケット（6個入）：注文番号 ES110003750（1台当たり4個使用）

オイル量は内部残留が無い場合で1.2Lです。オイルはギヤ側とモーター側の2箇所に入ります。

オイル量が安定するまで（約10分）待ってから、オイルレベルを確認

冷却水フィルタの清掃

汚れに応じて清潔な水で清掃してください。

ガスバラストフィルタの清掃

汚れに応じて清潔な圧縮エアで清掃してください。

パージガスフィルタの交換

1年ごとに新しいフィルタと交換してください。

冷却水ホース、パージガスホースの点検

1年ごとにホース、接続プラグに漏れがないか確認してください。

吸気スクリーンの清掃

排気速度の低下時に清掃してください。

③ 定期オーバーホール

標準仕様は4年ごと、または20,000時間を超えた時点の実施を推奨します。

作業内容

ポンプの分解、清掃

各種消耗部品の交換（Oリング、ガスケット、ピストンリング、ベアリング等）

各種部品の検査

組立

運転テスト及び能力確認

詳しくはライボルト株式会社 技術・サービスセンターまでお問い合わせください。

〒305-0854 茨城県つくば市上横場1959

TEL：029-839-5480 / FAX：029-839-5485